

## 平成 15 年度 SGST 第 6 回研究会 議事録

日時 : 平成 16 年 2 月 24 日(火) 15:00~17:15

場所 : 大同工業大学 6F ホール滝春校舎 A 棟 14 階

出席者 : 安藤 (瀧上工業), 海老沢(名工大), 小川 (名古屋道路工), 織田(瀧上), 梶川(金沢大), 佐藤鉄工:代理中田, 亀子(瀧上), 小澤 (建設技術研究所), 事口(大同工大), 佐藤(中日本C), 清水 (信州大), 酒造(大同工大), 水澤(大同工大), 山田 (名古屋大), 山田(トピー), 吉田(川田), 以上 16 名 (敬称略)

### 1. 定期研究会

講演 : 「鋼トラス橋の移設再利用の実例」

講師 : 金沢大学 工学部 教授 梶川 康男 氏

#### <内容>

古い橋梁を補強して長く利用する実例と、移設して再利用されている実例を全国調査した結果の報告と、再利用方法について講演して頂いた。

#### ① 架け替え等により不用となった橋梁の実態

交通状況の変化により、不用となった鋼橋の利用実態について。スクラップや鋼材の材料として利用される他、部材単位で再利用される事例や、そのまま移設し使用されている事例を紹介して頂いた。また、スクラップ古レールを再利用した橋梁についても紹介して頂いた。

#### ② 現地で長期間利用されている古い橋梁の実態

架け替えを行わず、補修・補強を行いながら現在も使用している橋梁について紹介して頂いた。鋼桁・鋼トラスのため、メンテナンスや補修さえ行えば、90 年以上使用出来る事例などを解説して頂いた。

#### ③ 移設や移築されて再利用されている古い橋梁の実態

交通量の増大、活荷重の基準変更に伴い、架け替えとなった橋梁の再利用について紹介して頂いた。

#### ④ 石川県での手取キャニオンロードでの移設再利用の実例の紹介

石川県金沢市内犀川に架設されていた鋼トラス道路橋を解体して、20km 離れた手取川キャニオンロード上の自転車道の橋梁に部材を再利用する計画から実施工事に至る事例を紹介して頂いた。

以上//

## 平成 15 年度 SGST 第 6 回幹事会 議事録

日時 : 平成 16 年 2 月 24 日(火) 13:30~15:00

場所 : 大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者: 事口(大同工大), 水澤(大同工大), 清水(信州大), 海老澤(名工大), 安藤(瀧上), 織田(瀧上), 亀子(瀧上), 山田(トピー), 8 名(敬称略)

### <幹事会議事内容>

#### 1) 第 5 回幹事会議事の説明(山田議事録担当)

・ H15 年度研究委員会の進め方, ホームページの改変, CPD 申請, 活動資料集について他.

#### 2) 研究委員会の進め方

##### 1) 現在, 募集している研究委員会について

具体的な内容を乗せた上で, 会員全員にメールで再度連絡のこと。

##### 2) 川田工業吉田氏より「複合構造の研究」というテーマにて提案がありました。

→ 研究委員会ではなく研究奨励とする。

(H15 年度研究奨励のうち的一件として扱う)

#### 3) H15 年度活動資料集について。

例年発行している構成にて, 事務局で作成した原案を検討。

以下の点を追加する

- ・ 「ごあいさつ」として, SGST の概要などを, 事口代表に執筆して頂く。
- ・ 定期研究会講演者の方に 1 ページ程度の講演概要を執筆して頂く。
- ・ 幹事会議事録を巻末に添付する。
- ・ 会員名簿に人数を明記する。名簿の特別会員(一種・二種)の種別を明確にする。
- ・ SGST 概要の中に CPD 申請を加える(内容を更新すること)

#### 4) H16 年度 総会について

日時: 平成 16 年 4 月 27 日

場所: 大同工業大学 滝春校舎

スケジュール: 13:30~ 幹事会

15:30~ 総会

16:00~ 講演会

後援会担当: 小塩幹事(名大)

懇親会を予定(場所未定: 牧野幹事)

以上//